

第5学年 道德科学習指導案

5年4組 33名
指導者 石原 陵

1 主題名 本当の自由とは

A－(1) 善悪の判断 自律 自由と責任	自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
-------------------------	-------------------------------

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

「自由」は他者との関わりにおいて「自分勝手」と取られることもあるが、本来の「自由」は、自分と同じく相手にも保障されるべきものである。それ故に、「自由」であるためには、善悪の判断ができることを前提に、自律的に判断し、行動することが必要である。人として自己を高め、よりよく生きていくためには、自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも、そこには内から自覚された責任感の支えが必要である。そこで、本学習を通して、自由を大切にし、自律的に判断し、責任ある行動をしようとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

一学期に学習した「心の管理人」では、自由に生きるためには、規則を守り、周囲のことを考えて行動することが大事だと学習した。学習後には、連絡黒板係が「自由コーナー」という場を設け、「このコーナーの管理人はあなたです」と書き、自律的な判断の下で行われるよう取り組んでいた。また、宿泊学習において、班で活動をしたり、生活をしたりすることで、自分たちで考えて行動することのよさを経験した。しかし、自分に任された役割や日々の生活における行動の一つ一つに責任が伴っていることまでには、十分理解できていない。そこで、自由に行動できるときにこそ、相手や周りのことを考えて正しく判断し、責任をもって行動しようとする意欲を育てたい。

(3) 教材について

(教材名「うばわれた自由」)

出典：小学 道德 豊かな心 光文書院)

「わがまま」に任せてきまりを破り動物をとるジェラルと、きまりを守ることの大切さを決死の覚悟で訴え続け、投獄されてしまうガリユー。二人の人生や思いを通して、「わがまま」と「自由」の違いについて学ぶことができる教材である。「自由」とは、決して自分勝手に「わがまま」にふるまうことではなく、自らの意志で考え、自律的で責任のある行動をすることである。ガリユーは、「森の番人」としての立場を全うし、自分の正しいと思う主張を続け、責任のある行動を最後まで貫いた。「本当の自由」とは自律的に判断し、責任を伴うということを捉えさせることで、ねらいとする価値に迫りたい。

(4) 主体的に考え、伝え合い、響き合うための工夫

展開前段の前半で、座標軸を用いて、ガリユーの考える「自由」について、「自由度」と「きまりを守る意識」を基にして考えさせる。タブレットを用いて、自分の考えを示させ電子黒板に提示することで「自由」には様々な捉え方があることをつかむことができるようにする。また、ジェラルが牢屋に捕らえられたとき、どんなことに気が付いたのかを考えさせることで、ジェラルの至らなかった点に気付くきっかけを捉えることができるようにする。

展開前段の後半で、「本当の自由」とは何かを考える際に、ワークシートに書かせることで、「自由」に対する自分の考えを表出できるようにする。その上で、ペアや自由な立ち歩きによる交流の場を設定し、それぞれの理由を伝え合うことで、道徳的価値についての理解を深めることができるようにする。

3 本時の学習

(1) ねらい

二人の「自由」に対する考えについて話し合うことを通して、自由に生きることは責任を伴うことを理解し、「自由」を大切にしながら自律的に判断し、責任のある行動をしようとする態度を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 今の自分たちの生活を振り返る。	○どんなときにわがままにふるまってしまいましたか。 ・買ってほしいものをねだってしまった。 ・家のルールを破ってしまった。	○事前アンケートの結果を提示することで、人間には誰しもわがままな部分があることに気付くことができるようにする。
	本当の自由について考えよう		
展開	2 教材を読み、話し合う。 (1) 二人の自由に対する考えを座標軸に表して比べる。 (2) 「本当の自由」とは何かを考える。 3 自分たちの生活を振り返り、これからの生活で活かしたいことを考える。	○二人の考えを座標軸に表してみよう。 <教材前半> ・ガリユーは、きまりも大事にしているし自由も大切にしている。 ・ジェラルは自分の都合のことしか考えていない。 <教材後半> ・ジェラルは、捕まってしまったから自由度は低くなった。 ・ジェラルは、自分の仕事に責任をもつことが大事だと学んだ。 ◎「本当の自由」とはどのようなものだと思いますか。 ・自分が正しいと思うことを、やりきること。 ・自分のしたことに責任をもって行動すること。	○座標軸を提示することで、二人の違いを可視化できるようにする。 ○教材を前半と後半に分けて読むことで、牢屋に捕らえられる前後のジェラルの気持ちの変化を考えることができるようにする。 ○牢屋に捕らえられたジェラルの心情を深く考えさせることで、ジェラルがどのような思いに至ったかを捉えることができるようにする。 ○学んだことを活かしながら自分の意見を書くことで、自分の思いを明確にできるようにする。 ○ペアや自由な立ち歩きによる交流の場を設定し話し合わせることで、多面的・多角的に考えることができるようにする。 ○これからは、自分の行動に責任をもって行動しようとする気持ちを高められるようにする。 ☆自由な考えや行動のもつ意味を、自分との関わりで捉え、これからの生き方を考えているか。 (発言、ワークシート)
終末	4 本時のまとめをする	○自由と責任についての話を聞きましょう。	○自由と責任の両面を大切に、これからは生活していこうとする意欲を高めることができるようにする。